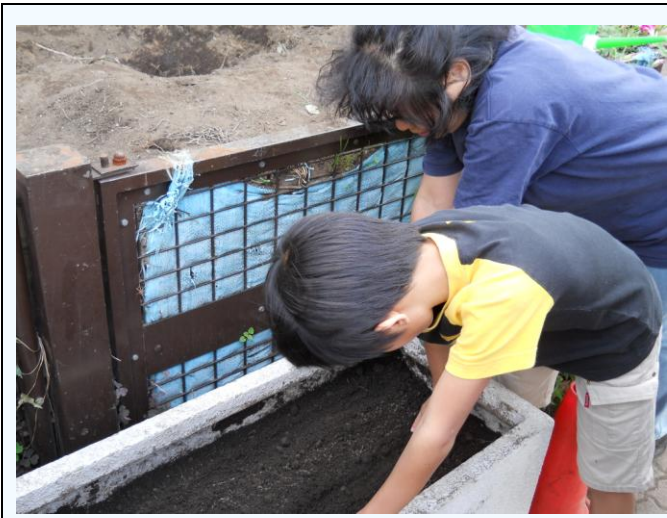


テーマ：『 地域の方々と共に自然と関わり、互いに助け合う気持ちを育てる環境教育 』

横浜市立 市場小学校

Tel. 045-581-2107 担当者： 庄司 由美



■実践内容：

- ・全学年の児童が花や野菜の栽培に取り組むことができた。市場小学校の全校で、「卒業する6年生」と「新しく入学する1年生」に「花の道」を作った。各教室で球根からチューリップを大切に育て、卒業式や入学式に合わせて鉢を昇降口前に並べ道を作り、感謝の気持ちや歓迎する喜びを伝えることができた。また、クラスごとにプランターでツルレイシ、ヒョウタン、アサガオのいずれかを選び育て、大きなグリーンカーテンを作り、猛暑の夏を涼しく過ごすための工夫を実感することができた。
- ・5年生は「米米クラブ」という地域ボランティアの方々と一緒に米作りに取り組み、地域の方々の昔からの知恵を学んだり、生命のつながりを実感したりすることができた。また、児童環境委員会が地域の「緑のボランティア」の方々と一緒にプランターに球根を植え、緑あふれる環境にしようと、栽培活動を行った。
- ・地産地消の魅力を今年度も実感することができた。「1万個実るように」と願いを込められた「イチマンボ」(サクランボ)を給食で食べた。秋からは「いちばたけ」を作り、プランターで野菜を各学級で育て、給食に出して味わう取り組みも行う。

■実践成果：

- ・今年度も様々な実践を通して、自然と関わる事ができた。また、植物を育てることで、気持ちを送ると活動も今後も続け、互いに助け合う気持ちをさらに育てていきたい。今後も主体的に活動し、地域の方々から学んだことを発信していきたい。

■実践ポイント：

- ・継続的に地域の教育力を積極的に取り組んだ。また食育を柱として校内でお米や野菜を育て食することで、児童の関心が高まった。